

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	健康診査・保健指導事業				シート番号	011-181
担当部署名	健康福祉	局	健康	部	健康医療推進	課 評価責任者(課長名) 河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	健康増進法、堺市健康診査・保健指導事業の実施に関する要綱			
	4	関連計画	健康さかい21			
5	事業実施の経緯	老人保健法に基づく基本健康診査が、高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特定健康診査(健康保険者が実施)で実施することになった際に、健康保険に加入していない者に対する特定健康診査と同等の健康診査として、健康増進法を根拠とした健康診査を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	生活保護受給者等、特定健康診査の対象とならない40歳以上の市民。				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	健康診査の結果からメタボリックシンドローム該当者及び予備群を判別し保健指導を実施することで、重大な疾病に至るのを未然に防ぐ。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	各区保健福祉総合センター生活支援課の担当者より周知を行い、受診を希望する者に受診票を発行し、健診実施医療機関で次の項目を実施。 基本項目…診察(問診・身体計測・血圧測定等)、血液検査、尿検査 詳細項目(詳細検査実施基準のもと、医師の判断により実施)…心電図、眼底検査 自己負担金…無料 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()				
10	直接実施以外の主な支出先	一般社団法人堺市医師会					

Ⅲ. 投入量

事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	2,950	2,926	2,948	2,956	3,879	3,780	3,879	
	主な事業費内訳	需用費	千円	92	64	97	61	110	80	98
		委託料他	千円	2,858	2,862	2,851	2,895	3,769	3,700	3,781
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円	806	574	815	844	1,080	1,098	975
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他(基金繰入金)	千円	100	43	100	14	100	45	108
		一般財源	千円	2,044	2,309	2,033	2,098	2,699	2,637	2,796
	12	人件費(b)	千円	990	990	990	990	980	980	1,070
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,940	3,916	3,938	3,946	4,859	4,760	4,949

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	健康診査・保健指導事業	シート番号	011-181
-------	-------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	各区保健福祉総合センター生活援護課へ対象者への周知を依頼し、担当者より受診を希望する者に受診票を発行し、健診実施医療機関で健康診査等を実施した。 【受診者数実績】 平成29年度 328人 平成30年度 320人 令和元年度 382人						
	15	健康診査受診率	%	目標値	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				実績値	1	1	2	3
				達成率	-	-	64%	-
				評価	-	-	少し悪い	-
		算出方法・設定根拠など 生活保護受給者の健診受診率(健診受診者数/生活保護受給者数)						
	16	目標値	-	-	-	-	-	
		実績値	-	-	-	-	-	
		達成率	-	-	-	-	-	
		評価	-	-	-	-	-	

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	受診者数	人	328	320	382
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,916	3,946	4,760
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	11,939	12,331	12,461
備考(算出についての説明等)						
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	受診を希望する者への健診の提供については、実践できていると考えている。 今後もわかりやすい受診案内の作成やがん検診等も含めた市の各種健(検)診の周知啓発に努めていく。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	健康診査・保健指導事業	シート番号	011-181
-------	-------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 健康診査の機会が失われることで、対象者の健康の保持増進への影響が考えられる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 休止期間が長期化された場合、廃止した場合と同様の影響が考えられる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 対象者の健康の保持増進を実現するため、検診の受診機会の確保が必要であるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 各医療機関において、換気・消毒液の設置等の感染予防対策を講じ検診を実施している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (生活保護担当課) 関連事業名 (④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 周知方法について、生活保護担当課より対象者に案内しており、連携して取り組んでいる。健康意識向上事業も活用し、更なる受診啓発に取り組んでいく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じたうえで実施していく。健康診査の周知と併せて、今後がん検診等も含めた市の各種健(検)診の周知啓発を行い、健康の保持増進につながるよう取り組んでいく。		